

裾野市総合計画審議会答申 要旨

(日時等)

1. 日時:令和2年11月5日(木)11:00~11:30
2. 会場:裾野市役所3階市長応接室
3. 出席者

<審議委員8名>

八木健二会長、藤井敬宏委員、岩瀬光正委員、小川孝委員、山本東委員、望月康男委員、増田喜代子委員、出口謙一郎委員

<市>

高村市長、石井企画部長

<事務局5名(企画部みらい政策課)>

鈴木みらい政策課長、山田課長代理、渡瀬主幹、長田係長、勝間田主席主査

(内容)

1. 開会
2. 答申

・会長が総合計画、国土利用計画の答申書を読み上げ、市長に手交。

3. 市長挨拶

・答申を受けて市長が挨拶。

<発言要旨>

・委員の皆様におかれましては、昨年度の7月から1年4カ月にわたって御審議をいただき御礼申し上げます。しっかりと未来のまちづくりに向けてやっていきたいと思えます。

・総合計画につきましては、ウーブン・シティが千載一遇のチャンスであることは間違いありません。市民と共に次世代型近未来都市を実現する過程において、人口減少にあっても縮充する社会に対応できるようなまちづくりをしていかなければなりません。その中身として、地方創生、東京一極集中を打破するような、裾野市らしいライフスタイルを提案していきたいと思えます。その結果として、「みんなが誇る豊かな田園未来都市すその」の実現を目指していきたいと思えます。

・国土利用計画につきましては、ウーブン・シティと地域が融合する田園未来都市にふさわしい土地利用に努めつつ、裾野市の資源を次世代に継承していかなければならないと思えます。裾野市における国土の均衡ある発展ということで、色々な施策を有機的に連携させて、田園未来都市を追い求めていきたいと思えます。

・総合計画の基本構想につきましては、これから議会に議決をいただいてということになりましょうし、その他のものにつきましては、しっかり報告をして策定してまいります。

・お力をいただいたことに、改めて御礼を申し上げます。

4. 意見交換

・委員がこれまでの審議会を踏まえて一言ずつ発言。

<発言要旨>

(八木会長)

・皆さんのお力添えでここまで来ることができて、今日でやっと肩の荷が下りるということでホッとしています。ウーブン・シティは千載一遇のチャンスなので、絶対ものにしてほしいと思います。アフターコロナも見方によっては、ピンチがチャンスということで、富士山を核とした豊かな自然をアピールして、やっていってほしいと思います。

(出口委員)

・ウーブン・シティの要素も盛り込まれ、ワクワクする計画になったと思います。これからのアフターコロナ、with コロナのニューノーマルにおいては、計画の運用を日々変えながら進めていく必要があります。SDCC 構想と密接に連携を図ってほしいですし、隣接市町も含めた県東部地域の発展を模索してほしいと思います。

(増田委員)

・人と人のつながりは、どの時代でも大切です。ウーブン・シティには期待していますので、共に発展していけたらと思います。

(望月委員)

・自分は 80 歳になりますが、人生 100 年時代なので、10 年後のまちの姿を見たいです。ウーブン・シティには大きく期待していますし、進捗を見たいです。

(藤井委員)

・トヨタが動いたまちということで、学生も注目しています。ただし、難しいのはこれからだと思います。企画と都市計画は連動させなければいけません。世界が注目する企業が入ってくるようになりますので、SDGs、多文化共生、そういうものが裾野に広がっていく社会構造を考える必要があります。これから総合計画がスタートしますので、長期・中期・短期といった計画づくりをしていただけたらと思います。

(岩瀬委員)

・ウーブン・シティよりも先に裾野市の名前を出していきたいです。10 年後に裾野市がブランド化しているようになると良いと思います。

(小川委員)

・ウーブン・シティは 1 つのきっかけとして、SDCC 等、これからの市の計画に期待したいです。

(山本東委員)

・具体化するためのプランと一緒に作っていかれたらと思います。オリンピックの期間中に大使館や経済団体に対して、セミナー等で PR してみたいと思います。

5. 写真撮影

・市長と出席委員全員で写真撮影。

6. 閉会

(配付資料)

次第

座席表

委員名簿

第 5 次裾野市総合計画について(答申)

第 4 次国土利用計画裾野市計画について(答申)